

第3回 学校施設の再配置検討住民 ワークショップ開催結果

目次

1. 第3回住民ワークショップの開催概要	2
2. 当日の様子・意見紹介	4
3. 参加者アンケート結果	9

1. 第3回住民ワークショップの開催概要

下記概要の通り、第3回住民ワークショップを開催しました

1. 第2回住民ワークショップの開催概要

日 時	2020年11月28日(土)9時30分～11時30分
場 所	青垣生涯学習センター 2F 研修室
対象者	田原本町在住で申込のあった住民
参加人数	17名
目的・ねらい	■ 田原本町における学校施設の再配置検討にあたって、学校再配置について地域や保護者の方々の意見を採用すること ■ 事務局による前回ワークショップの振り返り、学校再配置事例、アンケート、フリーダイアログを通じて、意見採取、理解醸成を図ること
ワークショップ概要	■ フリーダイアログでは「再配置検討について不安に思うこと」、「再配置に期待する事」について意見を伺いました

2. 当日の様子・意見紹介

参加者と田原本町職員が対話形式で意見交換を行いました

2. 当日の様子



フリーダイアログでは「不安に思うこと」「期待すること」として以下の意見が挙げられました

2. 意見紹介 (1/3)

カテゴリ	再配置に対する不安	再配置に対する期待
教育環境	■ 東小は来年以降の入学予定者は10名以下で児童数減少に歯止めがきかない、またPTAの負担も大きく限界にきている、東小の統合を急いで対応して欲しい ■ 学習の進捗で課題を残さないような義務教育の充実をお願いしたい ■ 子どもたちが意見を言いやすい環境にしてほしい	■ 多様な人との交流機会が増加することで、社会に出て活躍できる人材になることを期待
学校・先生	■ 「話す・書く・聞く・読む」の基本を大事にするという教育方針を明確にする ■ (幼稚園と比較して)先生の数が少ない小学校では先生の目が十分行き届いていない、再配置によりさらに悪化しないか懸念している	■ 多くの先生に見守ってくれることで、子どもたちに対する評価の固定化の解消につながると期待
通学・校区	■ 一校あたりの児童数が増えると、通学時の事故が増えるのではないかと懸念している ■ (他都市の保育園の事例では)送迎時の交通渋滞が発生しており、再配置により遠方からの保護者の送迎が増えると、渋滞が深刻化するのではないかと懸念している ■ スクールバスも配備してほしい	■ 校区を選択できるようにしてほしい
その他	■ 現状、学童の先生の人数が足りていないため、先生の負担増と、密であること(感染症対策の観点)からも環境の悪化が予想される ■ 学校の統合を行うなら、道が広い場所に新学校を建設してほしい	■ 洋式トイレに改修してほしい ■ 統合による環境変化の不安解消のため、様々な地域の子どもが集まってオリエンテーションを実施するのはどうか ■ これから学校に通おうとしている方の意見も取り入れるため、例えば3歳時健診の際にアンケートを実施するなどはどうか

「再配置に対する不安」について意見内容詳細は以下の通りです

2. 意見紹介 (2/3)

属性	意見内容詳細（再配置に対する不安）
男性	■ 先生が危機感を持って子どもたちのために一致団結して教育方針を議論し決定することが重要。明日香村で教育に携わった経験もあるが、先生が議論して「話す・書く・聞く・読む」の基本を大事にするという教育方針を決定した結果、学力テストの結果が向上した。
男性	■ 生徒が意見を言いやすい環境にしてほしい。教育の内容も当然重要だが、生徒の健全なこころの成長を見守るという意味では、再配置があっても学校が生徒にとって安心・安全な居場所となるよう、生徒の意見も聞く必要がある。
男性	■ 再配置により一校あたりの生徒数が増えると、通学時の事故が増えるのではないかと懸念している。他都市の保育園の事例では、現状においても交通渋滞が発生しているのに、再配置により遠方からの保護者の送迎が増えると、渋滞が深刻化することが容易に想像される。
女性	■ 「話す・書く・聞く・読む」といった基本が重要であることは同感。それに加えて、学習の進捗において課題を残さないような義務教育の充実をお願いしたい。海外（自身の出身地の南アメリカ）では、小学校一年から落第があり、だからこそ生徒は一生懸命勉強する。他方、日本は義務教育により教育機会が確保されているためか、学習の進捗に課題を残したまま進学してしまう生徒もいるように思われる。
女性	■ 幼稚園と小学校の参観に行き気づいたが、幼稚園と比べると小学校の先生の数が全く足りていないように思われる。幼稚園は安全面を特に考慮してか比較的に先生が目が行き届く体制となっていたが、先生数が少ない小学校では先生が目が十分行き届いていない。これでは、学校は安心な場所といえないのではないか。再配置によりこの状況がさらに悪化しないか懸念している。
女性	■ 再配置により学童の人数が増えることを懸念している。現状においても学童の先生の人数が足りていないため、先生の負担増と、密であることにより感染症対策の観点からも環境の悪化が予想される。スクールバスも配備してほしい。また、学校の統合をおこなうのであれば道が広い場所に新学校を建設してほしい。道が狭いと不審者が出没するのではないかと心配。

「再配置に対する期待」について意見内容詳細は以下の通りです

2. 意見紹介 (3/3)

属性	意見内容詳細（再配置に対する期待）
男性	■ 多くの先生に見守ってもらえるのはよい。評価の固定化の解消につながるのではないかな。
男性	■ 学校の統合を経験した立場から言わせてもらえば、一校当たりの生徒数が増えることで、生徒間で多様な人との交流機会が増加することは良かった。社会に出て活躍できる人材となるためにも、交流を通じて多様性を学んでほしい。
男性	■ 再配置により、生徒が新しい環境になじめるかどうか不安を抱くことが予想される。そこで、生徒の不安解消のための取組として、様々な地域の生徒が集まってオリエンテーションを実施するのはどうか。例えば、商工会の青年部では廃校を舞台に「逃走中(TV番組の鬼ごっこ企画)」を企画しているため、お声がけいただければ協力させていただくことも可能。
女性	■ 学校にはまだ和式トイレが多く残っているため、洋式トイレに改修してほしい。
女性	■ 東校区の幼稚園では児童の減少が続いているため、統合等早期対策が必要。東校区の幼稚園は閉鎖され、児童は北幼稚園に移ることになるが、そういった経験をした児童が再配置によりまた通っている学校がなくなるのは、不安が大きいのではないかな。ついては、校区を選択できるようにするのはどうか。再配置は差し迫った問題なので町においてしっかり計画を立てて進めてほしいし、随時その説明も行ってほしいと考えている。
女性	■ 各種データや説明、他の保護者皆さんの意見などが聞けてとても勉強になった。今後も、保護者はじめ地域住民の意見を聞く場を設けてもらえるとありがたい。
女性	■ これから学校に通おうとしている方の意見も取り入れるべきではないかな。具体的には、3歳時健診などのタイミングでアンケートを実施するなどが考えられる。

3. 参加者アンケート結果

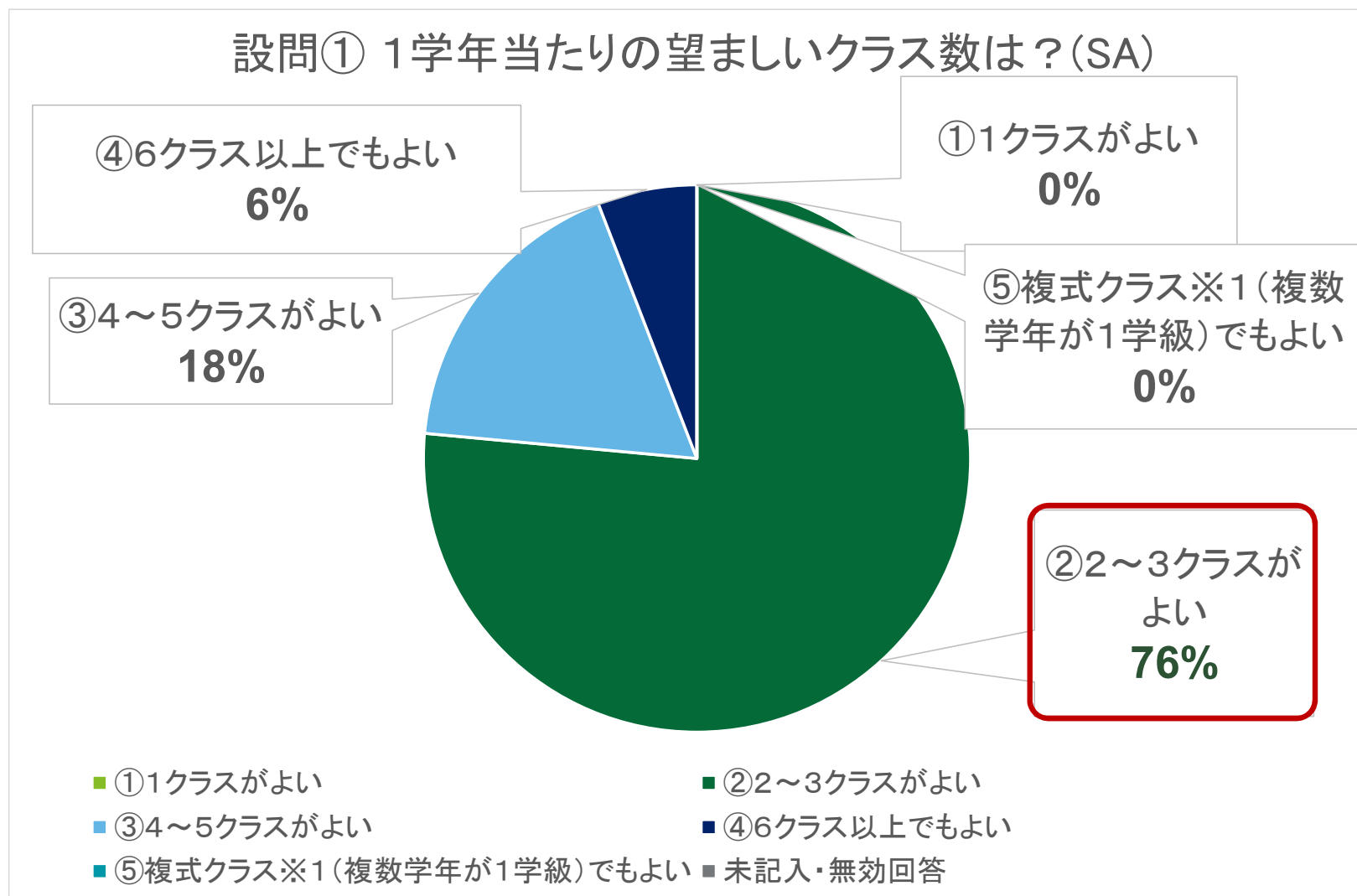
参加者アンケート結果の概要は以下の通りです 17名の参加者全員より回答確認しました

3. 参加者アンケート結果（1/5） 結果概要

アンケート項目	結果概要
1学年当たりの望ましい クラス数	■「2～3クラス」が76%と最も多い回答となりました ■次いで「4～5クラス」が18%となりました
1クラス当たりの望ましい 児童数	■「30人程度」が56%と最も多い回答となりました ■次いで「20人程度」が44%となりました
再配置について 最も懸念すること	■「通学距離について」が11人(65%)と最も多い回答となりました ■次いで「通学区域について」が9人(53%)となりました
再配置について 期待すること	■「児童の交友関係の広がり」が11人(65%)と最も多い回答となりました ■「児童へのきめ細かな配慮」が9人(53%)となりました

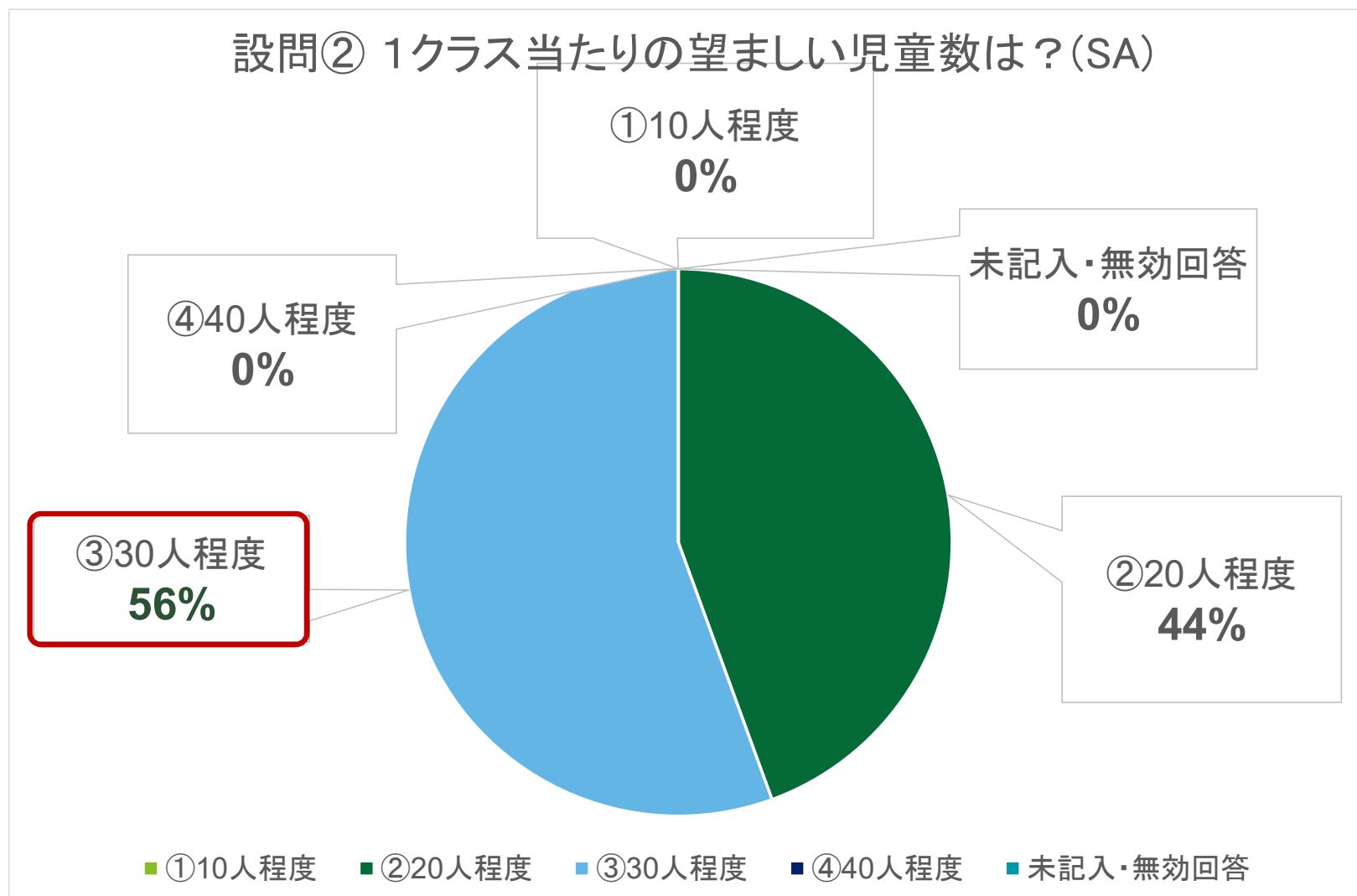
1学年当たりの望ましいクラス数は「2～3クラス」が76%と最も多い回答となりました

3. 参加者アンケート結果（2/5） 1学年当たりの望ましいクラス数



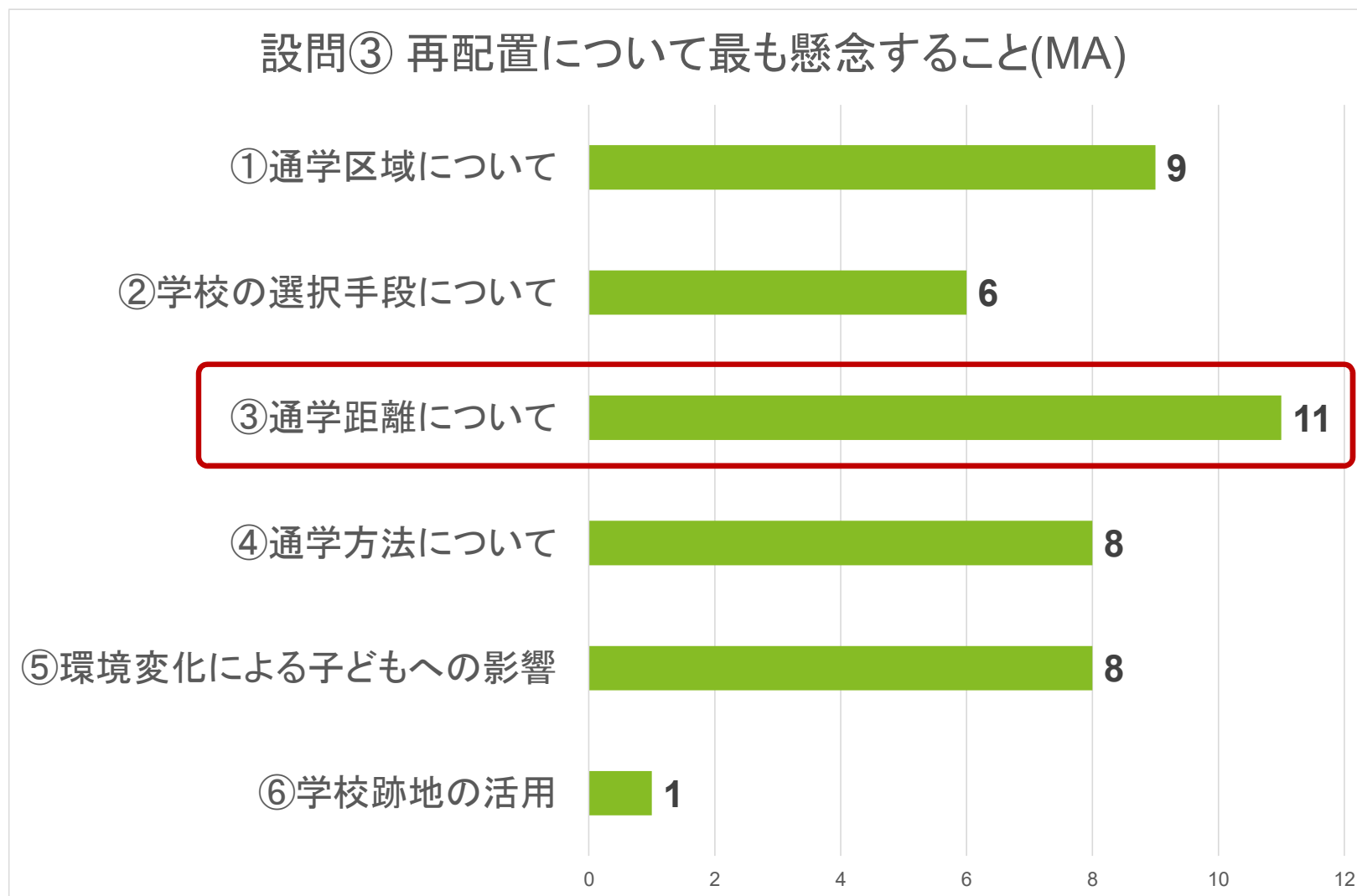
1クラス当たりの望ましい児童数は「30人程度」が56%と最も多い回答となりました

3. 参加者アンケート結果（3/5） 1クラス当たりの望ましい児童数



再配置について最も懸念することは「通学距離について」が最も多い回答となりました

3. 参加者アンケート結果（4/5） 再配置について最も懸念すること



再配置について期待することは「児童の交友関係の広がり」が最も多い回答となりました

3. 参加者アンケート結果（5/5）再配置について期待すること

